

学年	高1	教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2
教科書名	Mousa 1			副教材名	Music Note		
クラス・コース	特進・N進・スポーツ・芸能			担当者名	山本堅太郎、山本みずき		

## I. 目標

- ・音楽の諸活動を通して、創造的な表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高めるとともに、音楽に対する豊かな感性と音楽を愛好する心情を養う。

## II. 授業のねらい

- ・感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽の美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をする。
- ・自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身につける。
- ・多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。
- ・合唱を通じて、他者とのハーモニーを作り上げる技術を身につける。
- ・西洋音楽の基礎・基本について学ぶ。

## III. 授業の進め方

- ・発声練習を、コンコーネ50番などの教材を使いながら行う。正しい発声（ベルカント唱法）を身に付けた上、教科書やプリントの曲を歌唱する。ドレミ唱や母音唱を行い、その後原語の発音練習を行う。ただ歌うのではなく、正しい発音や音取りを心掛ける。その楽曲の時代背景や作曲者についても学ぶ。

## IV. 学習上の留意点

- ・学習内容にかかわらず、年間を通して授業への取り組みを重視する。
- ・音楽の授業は豊かな表現力の向上を目指すと同時に、他を知ることの姿勢を学ぶ場でもある。常に真摯な姿勢で学習に取り組む。
- ・耳を鍛えることによって、音の良し悪しを聴き分ける力を付けられるように心掛ける。

## V. 定期試験

- ・定期試験期間では行わず、歌唱テストを授業時間中に行う。また、実技試験を行えない状況の際には、授業時間中にペーパー試験を課す場合もある。

## VI. 評価の方法

- ・芸術音楽を愛好するとともに、それぞれの個性を生かして、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを享受しているか、実技では歌唱テストを行い、鑑賞ではノートの記載を適切に行なっているかを確認し、評価をする。合唱の分野においては、他者と協調性を取り、ひとつの作品を作り上げることを目標としきちんとできたかを評価する。
- ・鑑賞ではノートの記載を適切に行なっているかということも評価の対象とする。
- ・授業態度（忘れ物を含む）平常点として、忘れ物、授業態度が適切でない者（遅刻・私語・授業に不必要な持参物等）は減点する。

## VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	・発声練習、コンコーネ50番よりNO1、校歌斉唱、学園愛唱歌斉唱、翼をください(歌唱)、鑑賞(DVD)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声練習・校歌・愛唱歌及び課題曲の唱・課題曲から任意の1曲を選択し実技テスト(独唱)</li> <li>・ノートに校歌を写譜し、提出後評価を出す。</li> <li>・ノートに鑑賞の記録を記載し、提出後に評価を出す。</li> <li>・実技試験を行えない場合ペーパーテストにて評価を出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高めることができる。</li> <li>・感性が高まり、音楽のよさや美しさを感じ取って、創造的な音楽活動の工夫ができる。</li> <li>・自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現することができる。</li> <li>・多様な音楽に対する理解が深まり、創造的に鑑賞することができる。</li> </ul>
	5	「バッハを中心に」「ファンタジア2000」		
	6	・歌唱テスト(独唱)学期に2回 ・発声練習、コンコーネ50番よりNO2、見上げてごらん夜の星を(歌唱)、鑑賞(DVD)「コーラス」、「天使にラブソングを」		
二学期	7	・発声練習、コンコーネ50番よりNO3、「O'sole mio」、イタリア語について学ぶ、鑑賞(DVD)「天使にラブソングを2」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声練習・「Caro mio ben」を独唱。</li> <li>・ノートに鑑賞した感想を記入し提出。その後、評価を出す。</li> <li>・実技試験を行えない場合はペーパーテストにて評価を出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高めることができる。</li> <li>・イタリア語の正しい発音ができているか。また、歌詞を理解して歌唱することができる。</li> <li>・多様な音楽に対する理解が深まり、創造的に鑑賞することができる。</li> <li>・合唱することの意味を考え、歌詞、音取りは正しくできているか。</li> </ul>
	9	・発声練習、コンコーネ50番よりNO5、イタリア歌曲「Caro mio ben」、鑑賞(DVD)「過去の校内合唱コンDVD」、「ドラム・ライン」		
	10	・歌唱テスト(独唱)学期に2回 ・合唱コンクールの選曲、及び課題曲の音取り。曲に関しては、その年度の様子を見ながら選曲する。課題曲に関しても同様。		
	11	・発声練習、コンコーネ50番よりNO8、鑑賞(DVD)・合唱コンクールに向けて、ベートーヴェン「交響曲第九番第四楽章合唱付き」をドイツ語で鑑賞(DVD)		
三学期	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱におけるパートの役割分担を、社会生活における役割分担に置き換えて考えられるような示唆を与え、全体のパートあるいは個人の役割を自覚できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツ語の正しい発音ができているか。また、歌詞を理解して歌唱できているか。</li> <li>・合唱においては、クラスとしてのまとまりが十分であるか、ハーモニーは整っているか。</li> </ul>
	1	・発声練習、コンコーネ50番、NO11、「野ばら」(ドイツ語)、合唱コンクールの練習。		
	2	・合唱コンクール本番 ・歌唱テスト(独唱)「野ばら」 ・合唱コンクールの振り返り		
	3			

※ シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により変更することもあります。